

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ユービック情報専門学校
設置者名	学校法人東洋学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバスの作成にあたっては、1月に次年度の教育内容を考えて、次年度使用教科書の選定・申請を担当予定の先生方に依頼をしている。シラバスの準備も合わせてお願いしている。4月最初の日に関任教諭と非常勤講師も含めた講師会全体会を実施し、学校の方針や生徒の情報の共有を計り、シラバス作成・提出の手順を説明し、随時提出後の点検をおこない本校のホームページにて公表を行なっている。今年度はコロナウイルス感染の影響で4月には公表できなかったが現在公表中である。</p> <p>なお学生に対しては、毎年教務規定のうち、成績評価・卒業・進級規定等を抜粋し、合わせてシラバスの中からも抜粋した授業科目の内容等を印刷して履修登録時に配布し、これらの内容を説明告知している。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="http://www.ubik.ac.jp/2020johokoukai/">http://www.ubik.ac.jp/2020johokoukai/</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業を前・後期制とし、各期で中間・期末考査実施し評価を実施している。普段の学習成果を定期考査で計り、出席状況や学習態度・意欲・レポート等で平常点を計り、その合計で評価をしている。成績不振者は長期休みや普段からの補習を実施し、学習を補っている。</p> <p>成績評価については①中間・期末試験の素点100点満点の70%換算し、②平常点(出席率・課題提出・授業態度等)を30点満点で行い、①と②の合計点を算出し、下記の段階により、優・良・可・不可の評価を行っている。</p> <p>優 100点～90点          良 89点～75点          可 74点～60点          不可 59点～0点</p> <p>また、単位認定については、各科目において出席時数の3分の2以上で、かつ成績評価が不可でない場合に単位を認定している。</p>	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

定期考査の成績を優・良・可・不可の4段階で評価しており、2019年度末に初めてG P Aを算出し生徒指導を行ったが、今年度より前期・後期においてこの客観的な指標をもとに生徒指導を行っていく。

指標の算出方法は、下記の通りである。

可否区分	評価	評価点	グレード・ポイント
合格	優	100点～90点	4
	良	89点～75点	3
	可	74点～60点	2
不合格	不可	59点以下	1
履修取消し		G P A計算対象外	

### ③G P Aの算出方法

$$\frac{4 \times \text{優の修得単位数} + 3 \times \text{良の修得単位数} + 2 \times \text{可の修得単位数} + 1 \times \text{不可の修得単位数}}{\text{総履修登録単位数 (不可の単位数を含む)}}$$

・G P Aは、小数点第2位以下を四捨五入するものとする。

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

<http://www.ubik.ac.jp/2020johokoukai/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

新入生オリエンテーションや授業科目の履修登録の際に、成績評価や進級・卒業の規定を印刷・配布し内容の説明を行っている。卒業時には卒業判定会議を実施し、出席時数の確認と前期・後期の試験での成績評価による単位認定後、学科ごとに定められた単位数(原則として35時間を1単位とする)の80%以上を取得し、3分の2以上の授業に出席したものに対し、卒業を認定している。各期の定期考査後には個人面談を実施し、進級・卒業について話し合っている。また、本校の学科・コースはその名称からも目標の資格や職業が明確なため、面談を通じて生徒に目標実現を促す指導をしている。保護者面談も年2回実施し情報共有をしている。なお、必要に応じて個人面談・保護者面談を実施している。進級・卒業に成績不足のものや出席時数不足のものについては、規定を満たすまで追試や補講を行っている。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

<http://www.ubik.ac.jp/2020johokoukai/>